

道営工業用水道

室蘭・苫小牧・石狩
工業用水道事業の現況について



北海道 その先の、道へ。北海道
Hokkaido.Expanding Horizons.

令和4年3月
北海道企業局

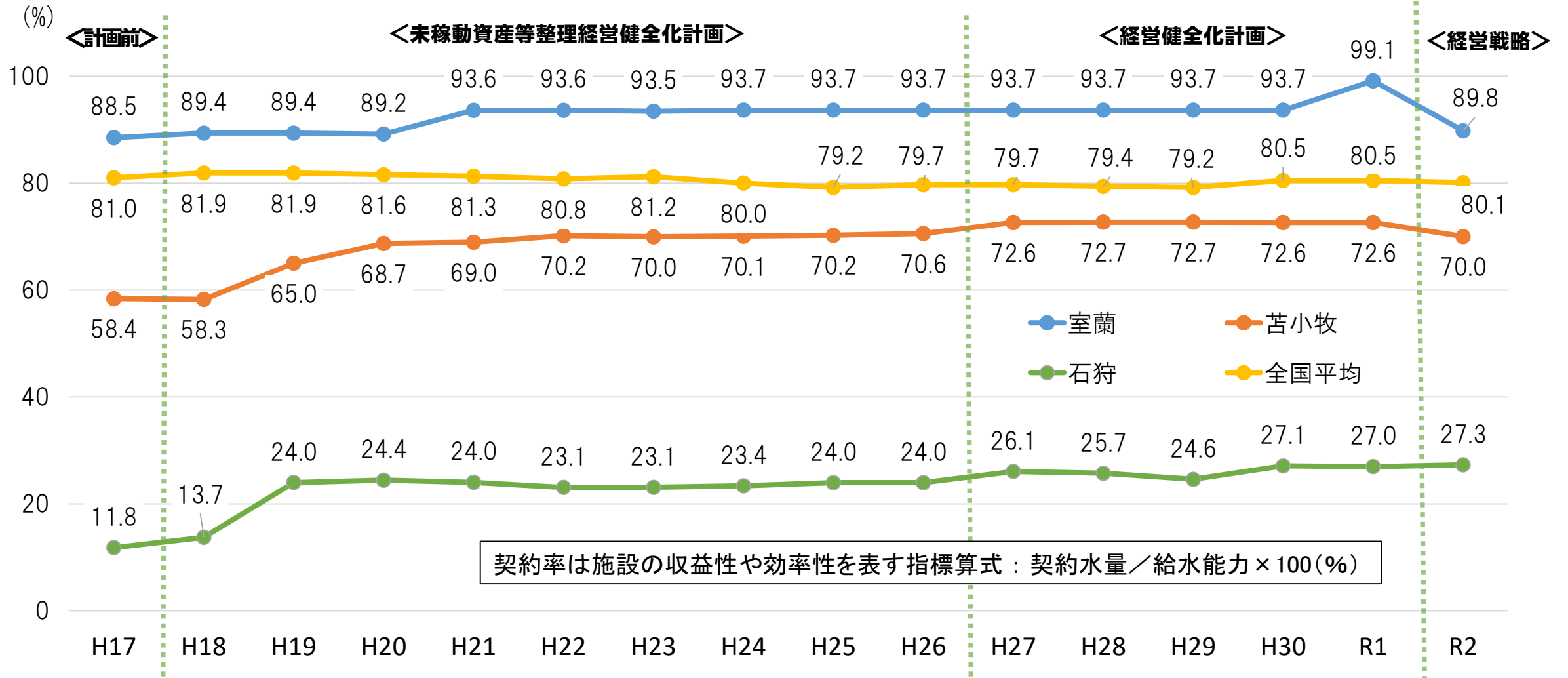


道営工業用水施設の概要

施設名	室蘭工水	苫小牧工水		石狩工水
		第一施設	第二施設	
施設名				
給水区域	室蘭市 登別市	苫小牧市 厚真町 安平町		小樽市・石狩市・ 札幌市の一部
給水開始 (経過年数)	S42.11 (54)	S45.4 (51)	S54.4 (44)	H11.4 (22)
給水能力(m ³ /日)	115,000 (103,260)	200,000 (140,150)		12,000 (3,618)
受水企業数(社)	8	38		32
基本料金(円/m ³)	18	20		55
管路延長(km)	25.0	61.5		43.6
備考	ダムを有しており 原水給水	浄水処理		浄水処理

*令和4(2022)年2月現在

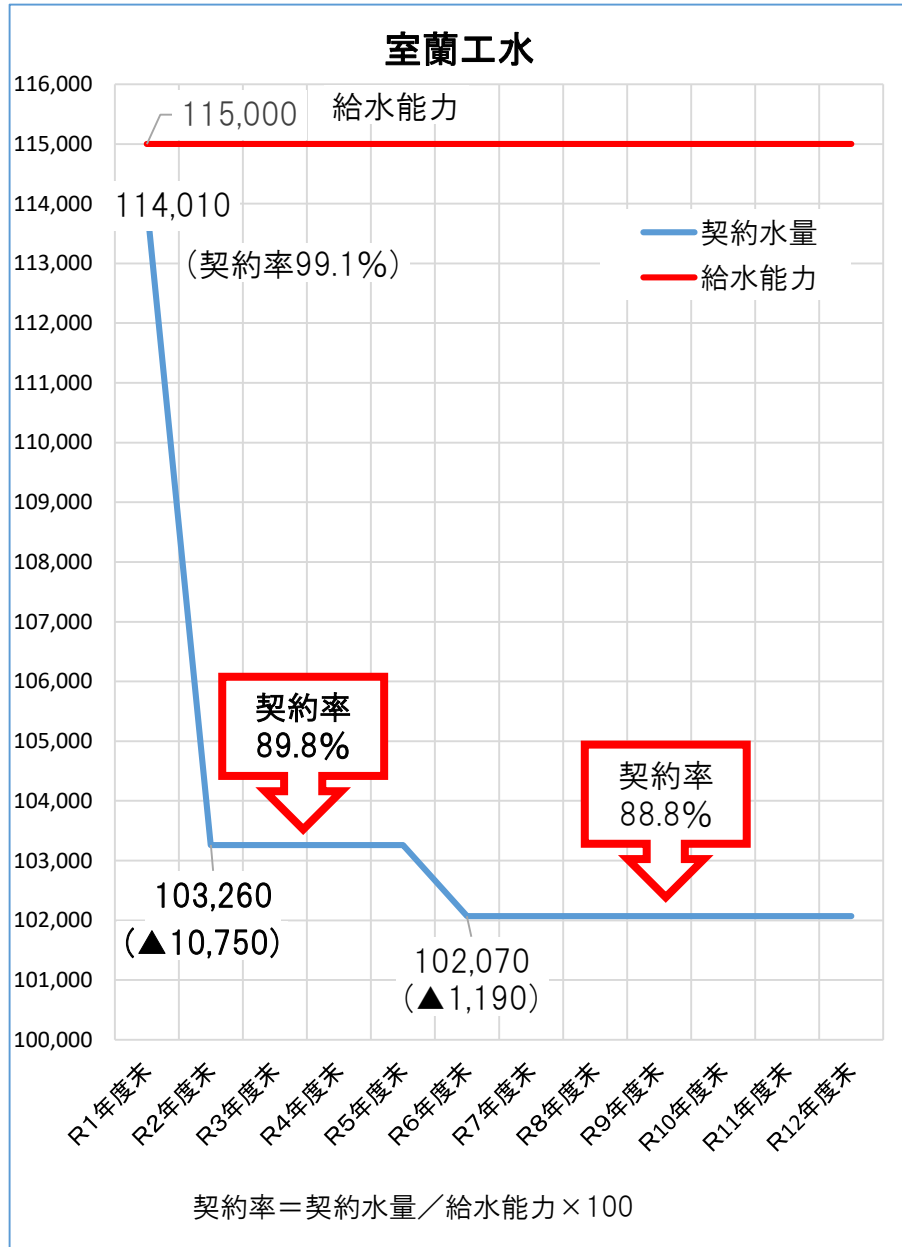
契約率の推移



○室蘭工水が全国平均を上回っているものの、苦小牧工水と石狩工水は全国平均を下回っている。

○特に、石狩工水においては、用水多消費型の企業立地が少ないことから、契約率は施設の給水能力12,000m³/日の約27%にとどまっている。

室蘭工水における契約水量の動向



(1) A社の減量

契約水量 28,550 t/日 (室蘭全体の26.5%) → 17,800 t/日 (▲10,750 t/日)

○「基本使用水量の減量及び廃止の取扱い」(管理者決定)に基づき、経営への影響を軽減するため減量負担金を徴収した上で、将来にわたり安定経営を維持できる範囲内で減量を認めた。

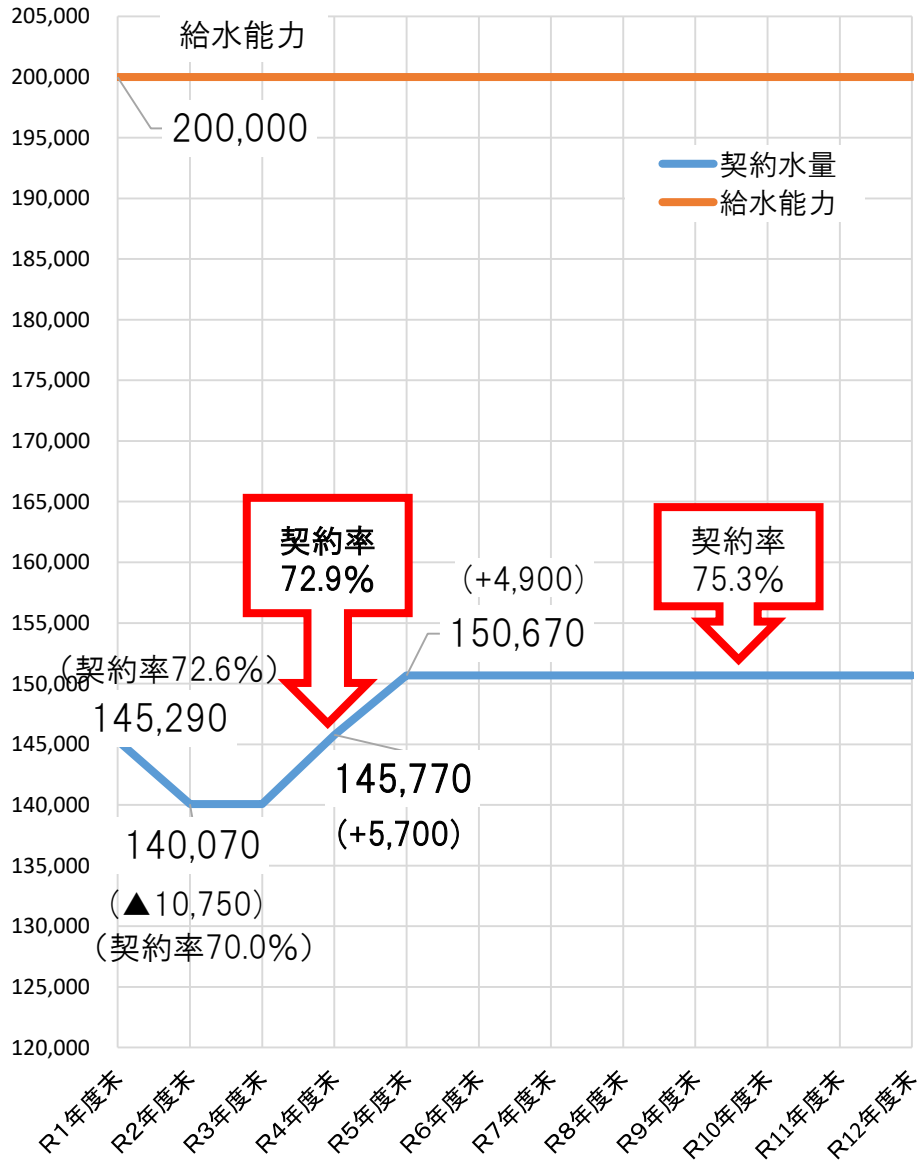
(2) B社の事業廃止

契約水量 1,190 t/日 → 0 t/日 (▲1,190 t/日)

○国が全額出資して設立した同社の事業の廃止に伴う廃止。

苦小牧工水における契約水量の動向

苦小牧工水



(1) C社

契約水量 28,600 t/日 → 22,880 t/日 (▲ 5,720 t/日)

○「基本使用水量の減量及び廃止の取扱い」(管理者決定)に基づき、経営への影響を軽減するため減量負担金を徴収した上で、将来にわたり安定経営を維持できる範囲内で減量を認めた。

(2) D社

契約水量 1,700 t/日 → 2,200 t/日 (+500 t/日)

(3) E社

【工水使用計画】

令和 4年9月 ~ 5,700m³/日

令和 5年4月 ~ 7,100m³/日 (1,400m³/日)

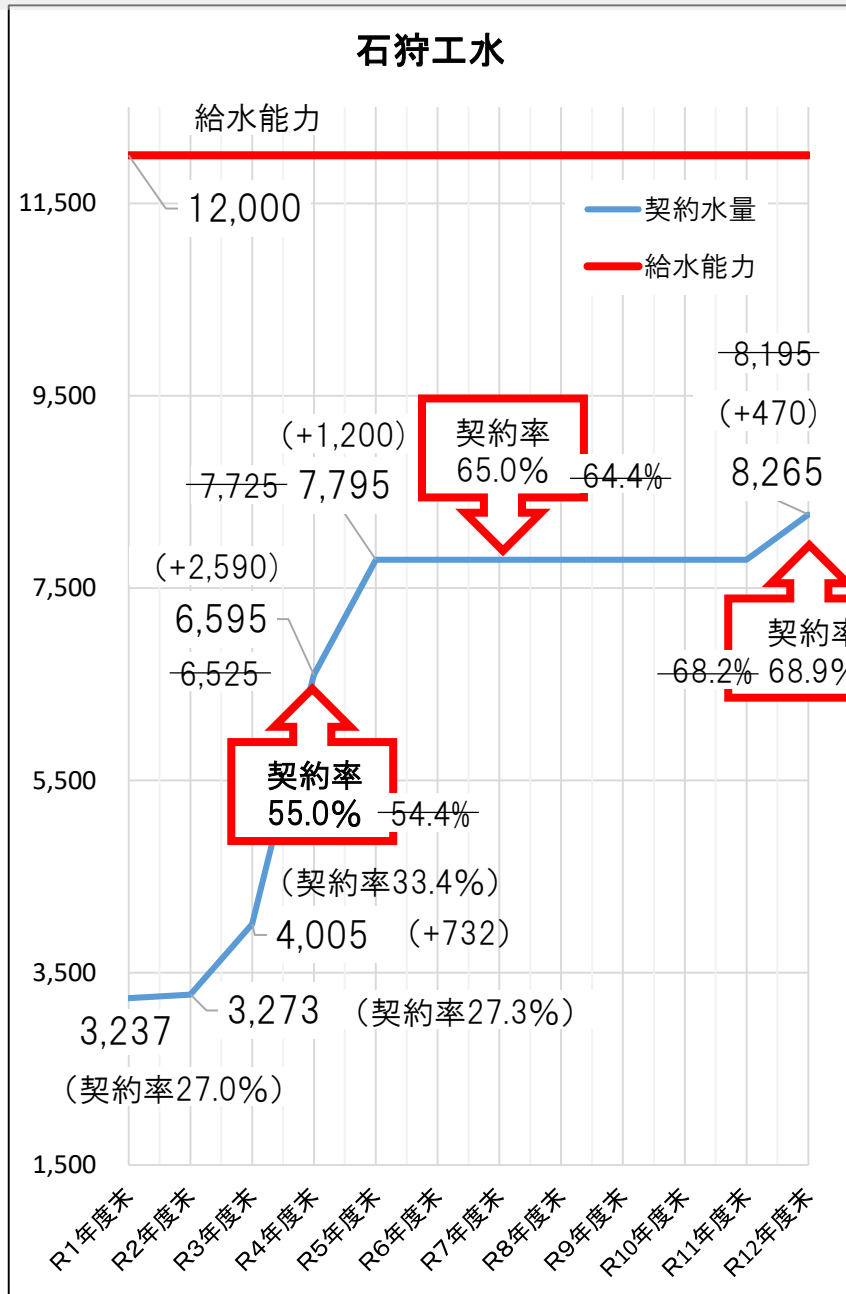
()内は増減

(4) F社 (計画中)

【工水使用計画】

令和5年12月 ~ 3,500m³/日

石狩工水における契約水量の動向



(1) G社

【工水使用計画】	令和2年10月～	48m³/日	
	令和3年12月～	480m³/日 (432m³/日)	()内は増減
	令和4年 4月～	3,000m³/日 (2,520m³/日)	

(2) H社

【工水使用計画】	令和3年11月～	35m³/日
----------	----------	--------

(3) I社

【工水使用計画】	令和4年5月～	35m³/日
----------	---------	--------

(4) J社(計画中)

【工水使用計画】	令和5年8月～	1,200m³/日
----------	---------	-----------

(5) K社

【工水使用計画】	平成30年10月～	600m³/日 (300m³/日)	
	令和3年12月～	1,070m³/日 (470m³/日)	()内は増減
	令和4年 4月～	1,600m³/日 (530m³/日)	